

(様式第1号)

■ 会議録 □ 会議要旨

会議の名称	第9回芦屋市環境づくり推進会議
日時	令和5年2月20日(月) 10:00~12:00
場所	芦屋市役所北館3階 ミーティングルーム2
出席者	会長 長井 彦一郎 委員 池内 清 委員 大脇 巧己 委員 半田 孝 委員 武田 誠 委員 松下 仁美 委員 大上 勉
事務局	環境課長 富松 正貴 保全係長 岡本 祐子 課員 芝本 裕真
会議の公開	■ 公開 ----- □ 非公開 □ 一部公開 会議の冒頭に諮り、出席者○人中○人の賛成多数により決定した。 〔芦屋市情報公開条例第19条の規定により非公開・一部公開は出席者の3分の2以上の賛成が必要〕 <非公開・一部公開とした場合の理由>
傍聴者数	0人(公開又は一部公開の場合に記入すること。)

1 会議次第

(1) 開会

(2) 議事

ア・令和5年度「芦屋市環境フェスタ」について

・「芦屋の鳥 観察サポーター」について

イ その他

(3) 閉会

2 提出資料

会議次第

【資料①】 令和5年度 芦屋市環境フェスタにむけて(案)

【資料②】 パンフレット

3 審議内容

(事務局)

本日は、お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。

定刻となりましたので、ただいまから第12期第9回芦屋市環境づくり推進会議を開催させていただきます。

それでは長井会長、会議の進行をお願いいたします。

(会長)

はい。まず、事務局から委員の出席状況の報告をお願いします。

(事務局)

委員10名中、本日7名がご出席でございます。半数以上の出席をいただいておりますので、本会議は成立しております。

(会長)

ありがとうございます。本日、傍聴の方はいらっしゃいますか？

(事務局)

傍聴の方はいらっしゃいません。

(会長)

それでは、議事に入ります。次第に沿って、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

はい。(資料の確認)

まず、来年度の環境フェスタについてです。まずは、【資料①：令和5年度 芦屋市環境フェスタにむけて(案)】をご覧ください。例年の環境フェスタは2月頃に開催していましたが、今年度の環境フェスタは、6月25日(土)に開催しました。その後、環境づくり推進会議の中でも、学校の夏休み期間に開催できればという意見があり、来年度の環境フェスタは8月～9月頃に実施できればと考えています。内容については、「ワークショップ」、「環境団体による展示」、「化石展示」の他に、昨年の会議で出た案として「芦屋川での野外活動」、「木の実等の自然素材を使用した工作」などがあります。

つきましては、市民センターの予約や、環境団体への参加依頼、8月の広報紙への掲載など、準備を進めていくため、今回の会議で環境フェスタの開催時期と内容について皆様に話し合っていたいただければと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

(会長)

ありがとうございます。来年度の環境フェスタについて、ご意見があればお願いします。

(事務局)

環境フェスタを実施するにあたり、広報誌やチラシを配布しようと考えたと5～6月頃には具体的な内容を決める必要がありますので、今回は様々な案を皆様に出していただき、次回の環境づくり推進会議以降で課題や準備することを決めていきたいと思っております。

(池内委員)

夏頃と考えると、木の実を拾うことは難しいと思います。資料にありますように芦屋川などでの野外活動は良いと思います。芦屋川のヨシを使った工作や、河口では魚を、上流では水生昆虫を見つけることができると思います。

(事務局)

市民センターから芦屋川へ降りることができますね。

(池内委員)

水生昆虫を探すのであれば、西芦屋公園が良いと思います。

(大脇委員)

池内委員がおっしゃったように、水生昆虫を探すのであればそのあたりだと水深も浅いので、良いと思います。市民センター付近の芦屋川では水生昆虫というよりは植物を観察する方が良いかもしれません。ただ、野外活動となれば天候が心配です。8～9月は台風が多いですし、開催時期が限られてくるのではと思います。

(事務局)

室内でのイベントもどうするか考える必要がありますね。

(大脇委員)

室内と室外を時間で区切るのか、同時並行で実施するかですね。

(池内委員)

以前実施した芦屋浜での観察も良いと思います。

(事務局)

芦屋浜ですと、多目的ホールもあります。ただ、環境団体様をどのようにお招きするかですね。

(池内委員)

環境フェスタの内容によって環境団体様に対応していただけたらと思います。

(大脇委員)

8月に実施するとなれば、子供達の自由研究に合わせることもできますね。ただ、無理に実施せずに9月頃でも良いと思います。また、9月はイベントも少ないので良いと思います。

(池内委員)

8月であれば、セミ取りができると思います。

(事務局)

そうですね。芦屋浜であれば磯で生き物を探すこともできますし、セミ取りもできますし、様々な活動ができると思います。

先ほどおっしゃっていた西芦屋公園はどうでしょうか。市民センターからは少し距離がありますか。

(大脇委員)

市民センターからは少し距離はありますね。そうすると午前と午後といったように時間で区切って活動しないといけませんね。

(事務局)

付近にトイレはありましたか。イベントとなればトイレが必要になります。

(大脇委員)

どうでしょうか。野外活動の際、2時間ほどのイベントであればトイレがなくても実施していますが、市民センター付近であればトイレもありますので良いと思います。

(事務局)

芦屋浜の総合公園もトイレがありますね。海の方であれば、鳥の観察もできて良いかもしれませんね。市民センターであれば、ツルヨシを使った工作もできます。

8月はイベントも多いと思いますので、9月に実施する方が良いかもしれませんね。

(会長)

今度、芦屋川ロータリークラブの方で、芦屋浜で釣りのイベントを予定しており、環境づくり推進会議と一緒にできないかと思いました。ただ、具体的な日時や場所はまだ決まっていません。

(大脇委員)

釣りは子供達も楽しめますね。現在は、芦屋浜で護岸工事をやっていますが、以前は、さんぴいすでも芦屋浜で活動をしていました。とてもいい場所ですよ。

(大上委員)

芦屋浜は、生き物がいますし子供達が楽しめる場所で市の魅力のひとつです。ただ、高潮などの自然災害への対策と利用客のマナーといった問題や課題もあり、今後どのように芦屋浜を運営していくか協議しているところです。しかし、先ほど大脇委員もおっしゃっていたように、子供達が自然を学ぶ上でとてもいい場所ですし、それが環境づくり推進会議の目的に合っているのではないかと思います。

(大上委員)

コロナの影響でなかなか野外イベントができませんでした。芦屋川や芦屋浜を中心にまずは野外イベントを実現できたらと思います。

(大脇委員)

野外イベントとなれば、やはり天候でしょうか。イベントを実施するためにも室内と野外の両方を用意する必要があると思います。

(事務局)

総合公園にも会議室があります。

(大上委員)

可能性限り自然を体験していただくとすれば総合公園の方がいいでしょうか。

(事務局)

総合公園で環境フェスタを実施するとなれば募集方法を考えないといけませんね。近年はコロナの影響で規模を縮小していましたが、以前は多数の方に当日参加していただいていたました。

(大脇委員)

ポスター展や作文コンクールは、どうしますか。市役所内で展示する方法でしょうか。

(事務局)

そうですね。市役所内に展示したところ反響もあり、また、表彰についても各学校で子供達が表彰されて良いのではないかと思います。

環境団体様の展示をメインにすると市民センターが良いと思いますし、野外の観察や体験をメインにすると総合公園が良いと思います。

(池内委員)

屋外でのパネル展示も可能だと思います。

(事務局)

展示する備品を環境団体様はお持ちでしょうか

(大脇委員)

総合公園の事務所にあったと思います。以前、テントや机等を借りて各団体さんに展示していただいたと思います。

(事務局)

一度、確認してみます。

(松下委員)

公園付近にトイレはありますか。

(大脇委員)

公園内にはトイレがいくつかあります。

(事務局)

でしたら、今回の環境フェスタは総合公園にしましょうか。鳥も観察できますね。

(半田委員)

良いと思います。

(大上委員)

昨年実施しました環境フェスタのように、環境団体様の活動を知る良い機会になりますし、団体様同士のつながりを広げていくためにもぜひ開催できればと思います。環境といっても「自然」や「ゴミ」といった幅広い意味がありますが、子供達に芦屋の自然を楽しんでいただくという環境づくり推進会議の原点に立ち返ってみる意味でも総合公園は良いのではないかと思います。

(池内委員)

環境団体の展示ブースを申込み制にするのか、あるいは当日参加していただく方法でもどちらでも良いと思います。

(半田委員)

総合公園にはビオトープもありますし、観察する上で良い場所だと思います。また、古市先

生やボランティア学生お呼びして、学生と一緒に講義してもらうことも良いかもしれません。

(事務局)

古市先生は、お呼びすることは難しいと思います。

(大上委員)

多目的ホールや野外も含めて、様々な場所で様々なアイデアがあつておもしろいですね。ただ、実際にどのような規模のイベントになるか想像ができないですね。

(事務局)

どのようなイベントにしていくかは、委員の皆様で案を出しあい、話し合っていたいただければと良いと思います。

(大脇委員)

予算はどれほどありますか。

(事務局)

ほとんどありません。ホームセンターなどで少し備品を購入するほどの予算はあります。

(大上委員)

施設や備品を借りるときの予算はどうでしょうか。

(事務局)

施設予約の予算は別枠ではありますが、総合公園で備品を借りるとなれば費用を確認する必要があります。参加される環境団体様の人数を考慮すると総合公園の多目的ホールを貸し切ると良いのではないかと思いますし、借りる予算はあると思います。

ビオトープは、池に立ち入るとなれば危険ですし利用は難しいと思いますが、浜に行って生き物を捕まえて、室内で観察するといった活動はできると思います。

野外活動のプログラムを1部と2部に分け、あるいは、参加するにあたっては申込み制を取ると良いかもしれません。室内展示については自由に見るようにすれば、室内と室外の両方を体験できると思います。

(会長)

イベントの規模をどうするかですね。それによって参加人数を決める必要もあります。雨天の場合は中止にするか、あるいは雨天の場合は室内のみにするかですね。

(事務局)

そうですね。市民センターとは違い、雨天の場合は中止になるかもしれませんね。

(大脇委員)

今回は開催することを優先する方がいいのか、あるいは、今後の恒例イベントにしていくのであれば、もう少し大規模な環境フェスタにする方がいいのか、どちらかでしょうか。私は、今回は開催することを優先にし、従来どおりの規模で開催できればと思います。

(池内委員)

前回のどのような環境団体が参加されましたか。環境団体によってできることとできない活動があると思います。私は、以前、凧を作って凧揚げや、石にお絵かきをする活動をしました。あとは、「野鳥の会」など新しい環境団体をお呼びするのも良いと思います。

(事務局)

今回は、「芦屋市子ども会連絡協議会」、「芦屋森の会2001」、「NPO法人さんぴいす」、「葉っぱリサイクルクラブ」、「こどもエコクラブ グリーンキッズ」、「あしやエコクラブ」、「CGJ」の計7団体が参加されました。やはり環境フェスタの本来の目的のひとつが環境団体様のつながりを広げていくことですので良いと思います

(大脇委員)

高座の滝で、「芦屋市子ども会連絡協議会」が子供達に向けて積極的に活動をしているとお聞きしましたが、いかがでしょうか。

(武田委員)

おっしゃった活動ではないですが、毎週日曜日に潮芦屋ビーチで子供達や親子と一緒にゴミ拾い活動をしています。その際に、ビーチで生き物を見つけたりしてとても楽しい活動です。

先ほど、池内委員がおっしゃっていた凧揚げは楽しそうですね。

(池内委員)

ビニール袋に割りばしと糸をつけるだけの簡単なものです。

(武田委員)

ぜひ、「芦屋市子ども会連絡協議会」で凧揚げをしたいと考えていますので、教えていただければと思いますし、一緒に活動してみたいです。

(大脇委員)

そうですね。

(会長)

様々なイベントをすとなれば、やはり総合公園が良いでしょうか。

(松下委員)

雨天等で中止になった場合は、別日に実施するのでしょうか。

(大脇委員)

そのために、室内でのイベントもあった方がいいかもしれませんね。

(事務局)

やはり、環境団体に再度日程調整をする必要もありますし、別日に改めて実施することは難しいと思います。

(会長)

今回は規模を抑えた環境フェスタにして、屋内でも屋外でも可能なイベントを実施する方

がいいかもしれませんね。

(大脇委員)

屋内のイベントについては、従来実施してきた化石展示やワークショップなどを設け、屋外のイベントは申込みなどで参加していただく方法が良いと思います。もし、雨が降った場合は、屋外のイベントは中止となりますが、屋内のイベントには参加できて良いと思います。

(会長)

「屋外のイベントについては雨天の場合は中止する場合があります」と案内する必要がありますね。

(大上委員)

雨も自然の一部ですし、雨天でも傘をさして屋外の観察はできると思います。

(半田委員)

雨でも鳥の観察はできます。むしろ、雨の方が鳥は観察しやすいです。

(池内委員)

植物もできます。

(大上委員)

さすがに荒天は中止だと思いますが、可能であれば当日の天候によってイベントのプログラムを臨機応変に変えていくこともひとつ良いのではないかと思います。

(事務局)

日時は、8月と9月ではどちらでしょうか。

(松下委員)

8月は土曜日が4回あり、且つお盆で参加人数も少なくなるのではないかと思います。一方、9月は土曜日が5回あって良いのではないかと思います。ただ、台風が心配です。

(池内委員)

8月は猛暑ですし、屋外のイベントは難しいかもしれませんね。

(事務局)

連休を避けるとすれば、9月23日か30日でしょうか。

(松下委員)

秋分の日以降だと、少し涼しくなっているかもしれませんね。

(大上委員)

生き物の様子はいかがでしょう。大丈夫でしょうか。

(事務局)

秋頃ですとバッタ等の生き物が充実していそうですね。

(大上委員)

議会の日程を考慮しますと、9月上旬よりも9月30日の方が良いですね。

(事務局)

場所は総合公園です。備品については確認します。

(会長)

詳細なイベント内容については今後決めていくこととしましょうか。

(半田委員)

今年は、太陽の黒点が観察できますので、望遠鏡を準備しようと思います。

(事務局)

良いですね。環境課の望遠鏡もありますので、観察会できますね。

(池内委員)

観察は望遠鏡を直接のぞくのではなく、白い紙に映して観察する方法を考えています。

(会長)

それでは、令和5年度の環境フェスタは、日時が令和5年9月30日(土)、場所は総合公園となりましたので、皆様よろしくお願いたします。

では、次の議題について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

2つ目に、「芦屋の鳥 観察サポーター」についてです。【別紙②：パンフレット】と【芦屋で会える鳥 冊子】をご覧ください。こちらの冊子は、昨年、半田先生にご協力いただきながら作成いたしました。委員の皆様お一人にお渡ししていますので、どうぞお持ちください。前回の会議に参加された委員様には少し説明させていただきましたが、市民の方を対象にサポーターになっていただき、冊子と一緒に芦屋市内で見られる鳥を観察・記録していただく活動を推進会議として支援してみてもどうかと思い、事務局として提案させていただきます。内容についてですが、実際に観察できた鳥の種類や場所を記録し、報告していただくことを考えています。なお、サポーターの募集案内は、4月の広報紙やホームページに掲載する予定です。具体的な活動内容は決まっていますが、皆様のご意見をいただければと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。

なお、補足となりますが、今回のサポーター制度を提案した背景としては、この冊子を市内の学校園などに1冊ずつお配りしたところ、反響もあり、市民の方からも冊子をほしいという要望が多く寄せられたため、サポーター制度を導入して冊子をお渡ししてみると良いのではないかと考えたからです。また、環境づくり推進会議の目的としても、子供達や若者等に普及していくために、サポーターのターゲットを「親子」や「小中学生や高校・大学生」に絞っていかうと考えています。冊子は、あくまでも貸出しという目的でお渡しする予定です。今後の環境フェスタで、サポーターの方にお声がけし、報告書を展示してみてもどうかと考えています。

(会長)

ありがとうございます。「芦屋の鳥 観察サポーター」について、ご意見があればお願いします。

(池内委員)

サポーターというと、観察会の補助という印象を受けます。例えば、「芦屋の鳥 観察隊」や「芦屋の鳥 楽しむ会」等はどうでしょうか。

(事務局)

当初は、「観察隊」も考えましたが、昨今の事情も踏まえて「サポーター」にしました。

(会長)

これは個人の活動になるのでしょうか。それともグループの活動でしょうか。

(事務局)

個人での活動を考えています。

(池内委員)

具体的な内容はこれからだと思いますが、せっかくであれば、サポーター同士が集まって半田先生と一緒に観察会を実施してみると良いかもしれません。

(池内委員)

このような活動に参加する方は、既に鳥に興味がある方だと思いますので、鳥の観察に関するレクチャーができれば良いのではないかと思います。いずれにしても、私はこの活動はとても良いと思います。

(事務局)

せっかく冊子をお渡しするので、ただ読むだけでなく、読んだ方が今度は教える側になってほしいという思いもありますので、サポーター制度を導入して芦屋の鳥の普及できればと考えています。

(池内委員)

そうですね。そのためにも、まずは鳥の観察方法は知っておく必要があるのではないかと思います。

(大脇委員)

冊子の中に「環境づくり推進会議」についての紹介がありますが、環境づくり推進会議というよりもサポーターの目的や活動内容についてももう少し説明があると良いのではないかと思います。このサポーターは環境づくり推進会議という組織のひとつという位置づけでよろしいでしょうか。

(事務局)

そうですね。環境づくり推進会議とサポーターを別個にするのではなく、環境づくり推進会議と関連させる方が良いのではないかと思います。

(大脇委員)

まずは、環境づくり推進会議で募集し、その後、独立して活動をしていくことも良いと思いますが、環境づくり推進会議の一貫である以上は責任もありますので、しっかり管理していく必要もありますね。

(事務局)

そうしましたら、【資料②パンフレット】の「芦屋市環境づくり推進会議とはどんな団体？」の下にある「主な活動内容（抜粋）」を削除し、「サポーターの皆様をお願いしたいこと」というように変更しましょうか。

(大脇委員)

そうですね。無理にパンフレットに環境づくり推進会議の案内を記載しなくても、まずはサポーターの活動についてもう少し記載できればと思います。環境づくり推進会議に関する案内については、別途、用紙を用意してパンフレットと一緒に挟み込みと良いかもしれませんね。

(事務局)

パンフレットについては、三つ折りでもよろしいでしょうか。

(大上委員)

パンフレットの裏面に、写真1枚だけ掲載されているページがありますが、このページをもう少し活用できませんか。

(事務局)

パンフレットの見栄えを考えると、このページを変更する予定はありません。連絡先なども他のページに記載していますので。

(大上委員)

分かりました。

表紙は、「サポーターを募集します」といった内容にする方が良いかもしれませんね。あとはサポーターのネーミングも考えないといけませんね。また、パンフレットの中に、観察の注意書きを記載すると良いと思います。

報告の形式は、写真やデータなどでしょうか。そうするとホームページで紹介していくこともできて、図鑑のようになって楽しいと思います。

(事務局)

ホームページは、ページの容量上、多くの写真を載せることは難しいです。ただ、リンクを貼ってご紹介することはできます。

(大上委員)

報告書の形式は自由といっても、写真やデータをメールで提出していただく方法になるのでしょうか。

(事務局)

おそらく、メールでの提出は難しいと思います。

(大脇委員)

報告書の例をホームページに掲載すると分かりやすいと思いますし、そのホームページのQRコードをパンフレットに貼ると良いのではないかと思います。ホームページには、鳥の観察方法や半田先生からの情報を掲載して、芦屋の鳥観察サポーター専用のページを作ると良いと思います。また、情報提供の方法についてですが、市のインスタグラムを活用してはどうでしょうか。リアルタイムで情報を得ることができますし、そこで得た情報の中で公開できるものできないものを確認して、掲載すると良いと思います。

(事務局)

インスタグラムの活用については、管理が難しい面があります。情報提供の方法も、メールのセキュリティを考慮すると写真というよりもWordやExcelといった様式になると思います。

サポーターからの報告については、例えば年に1度、環境フェスタで報告会の場を設けて半田先生からアドバイスをいただき、お互い情報交換や共有ができる機会を作るという内容を考えています。

(半田委員)

こういった組織は既にありますので、今回のサポーター制度は、もう少し時間をかけて考えていく方が良いと思います。例えば、「日本野鳥の会」も同じような組織だと思いますが、そこまで本格的な活動はしなくて良いと思います。写真での提供が難しいとありましたが、可能であれば、サポーターが撮影した写真に対して他のサポーターと意見交換をすると良いと思います。

(大上委員)

どのような情報であれば市民の方に普及できるでしょうか。

(事務局)

既に興味があって活動している方は、SNSや組織を通じてつながっていると思います。環境づくり推進会議の目的は、興味がない方へのきっかけ作りだと思います。環境づくり推進会議で興味を持っていただいた方が他の団体や組織とつながっていく機会を作ることが大切だと思いますし、そこでの機会を通して更に広くつながっていくことが理想ですね。

(半田委員)

例えば、環境フェスタでひとつブースを設けて、お互い自由に報告して意見交換していただく方法でも良いと思います。

(事務局)

そうですね。そういった場所の提供をすることが大切だと思いますし、年4回の報告もそういったひとつの機会です。報告の様式は、作文でもポスターでも写真でも自由で良いと思います。

(半田委員)

「おもしろい鳥を見つめました」で終わると残念ですので、何かしらの受皿が必要になると思います。

(事務局)

年4回ですので、例えば、4月にサポーターの募集をし、6月に報告書を提出していただき、7月に委員の皆様へアドバイスや意見をいただき、9月の環境フェスタで実際に意見交換会をするというのはどうでしょうか。

(大脇委員)

いきなりサポーターを募集するというよりも、まずは観察会を設けて、そこで冊子を渡してサポーターを募集する方が良いのではないかと思います。

(事務局)

サポーターを募集する前に一度イベントを実施するという事ですね。そうすると、イベントは子供達を対象にする必要がありますね。例えば、星空観察会では、既に星空に興味があるという方たちも申込みされています。そうではなくて、興味がない小・中学生や高校生に参加していただく方法が必要になります。

(大上委員)

そうしましたら、サポーターの募集枠の「カワセミグループ」を無くしてビギナーグループを入れてはどうでしょうか。

(事務局)

興味がないビギナーグループだけというよりも、「カワセミグループ」のように知識がある大人の枠を設けて活動する方が相乗効果になって良いと思いますし、そうすれば、より芦屋の鳥に対して興味が広がっていくと考えています。年齢層を3つに分けている理由もそのためです。

(大上委員)

意図はとても分かりました。

(事務局)

事前にイベントを実施することも良いと思います

(大脇委員)

報告書の提出というよりも、年4回の報告会に参加していただくだけでも良いかもしれませんね。

(事務局)

ただ、子供達は忙しいので、毎回の報告会に参加していただけるか不安があります。

(大上委員)

今回の環境フェスタにプログラムとして入れてみてはどうでしょうか。

(事務局)

良いと思います。ただ、現在のところ環境フェスタの具体的な内容が決まっていませんので、まずは環境フェスタの具体的な内容を決めてからの方が良いと思います。

今回のサポーター制度はあくまでも提案ですので、無理に本日中に決めるものでもありま

せん。もし、4月から募集するとなれば4月の広報誌に掲載する必要がありますし、そのためには本日中に決めなければならないので、今回議題に上げました。

(大上委員)

まずは、サポーター制度のターゲットとネーミングから決めていく必要がありますね。

(半田委員)

私がこのサポーターに応募するとなれば、報告書の提出に少し難しい印象を持ちます。また、また、ネーミングも「サポーター」は堅い印象を感じますので、「フレンド」のように少し優しい印象のネーミングにしてはどうでしょうか。

(松下委員)

「サポーター」というと、知識がある方だけが集まりそうですね。「フレンド」だと可愛いですね。

(大上委員)

指導や助言を目的とするなら「サポーター」が良いと思いますが、今回の趣旨を考えるともう少しネーミングを考えていくと良いですね。

(事務局)

本日、無理に決める必要もありませんので、もう少し皆様と話し合いながら決めて内容を決めていきたいと思えます。

そもそも今回のサポーター制度について、「環境づくり推進会議」の名前で提案させていただきましたが、皆様よろしいでしょうか。「芦屋市環境課」の名前に変更することも可能ですがいかがでしょうか。

(会長)

ありがとうございます。「環境づくり推進会議」の取り組みで良いと思えます。今回、サポーター制度について事務局がここまで提案してくださり、環境づくり推進会議委員としても大変嬉しく思います。一方で、未完成な部分もありますので、これから皆様で話し合っていきたいと思えます。

他に何かございますか。なければ事務局から連絡事項はございますか。

(事務局)

次回の会議は、4月頃を予定にしています。後日、日程調整させていただきますので、ご確認よろしく願いいたします。

(会長)

当初予定していた議事は全て終わりましたが、他に何かございますか。ないようでしたら、これで第9回環境づくり推進会議を終了します。ありがとうございました。

以上